

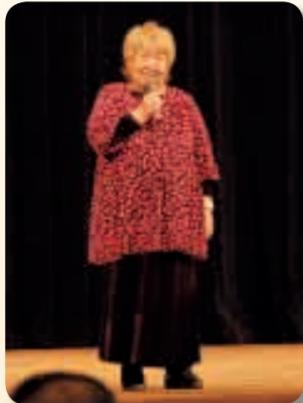


### ミニSL大人気 (2月19日 栄町商店街)

「愛らぶ高梁 夢SLフェスタ」(高梁市青年経済協議会主催)が初めて開催され、多くの親子連れや鉄道ファンでにぎわいました。汽笛を鳴らし白い蒸気を上げて、全長100mの線路を走行するミニSLは、子どもたちに大人気。また、SLが走っていたころの懐かしい映像や写真、機関士の制服など関連グッズの展示もあり、来場者はじっくりと見入っていました。

### 郷土の偉人・留岡幸助の映画上映 (2月11日 総合文化会館)

本市出身で、明治から昭和初期にかけて少年の更生に尽力した留岡幸助(1864~1934)の生涯を描いた映画「大地の詩—留岡幸助物語—」がこのほど完成。市内でも撮影が行われたことから、全国に先立ち、本市で先行上映されました。上映前には、監督の山田火砂子さんが「お世話になった高梁の皆さんに、直接お礼ができてうれしい」とあいさつ。映画が始まると、訪れた900人の市民らは郷土の偉人・幸助が残した足跡に見入っていました。幸助を顕彰する碑が高梁総合福祉センター前の高梁中央公園内に建てられています。



あいさつする山田監督



留岡幸助



幸助の顕彰碑

### みんなで健康チャレンジ (2月26日 総合文化会館)

「我が家ではつつ研修大会」(同実行委員会主催)が開かれました。これは、昨年11月から60日間、市民が食事や運動などで生活改善に取り組んだ「チャレンジ60」(1,629人参加)の成果を広めようと開催されたもので約500人が参加。大会前には、市内の寺院など巡る歴史散策ウォーキングも行われました。研修大会では、健康に関する講演、チャレンジ60参加者の体験発表がありました。またアトラクションとして、備中町湯野舞踊会がチャレンジ60にちなんだ芝居を披露し、会場を笑いの渦に巻き込んでいました。



### 心に春を呼ぶ歌声 (3月6日 養護老人ホーム長寿園)

シンガーソングライターの谷村詩織さんが訪れ、歌を披露しました。澄んだ歌声のプレゼントに約40人のお年寄りらは、歌に合わせて手拍子しながら一緒に口ずさみ、心が温まる一日となりました。谷村さんは、歌手・谷村新司さんの長女。全国各地の病院や福祉施設に歌を届ける活動を行っています。



# カメラ

あらかると



### 城下町を駆ける (2月13日 高梁市街地)

「第32回愛らぶ高梁ふれあいマラソン」が開催されました。従来より2km延長した城下町コース(10km)のほか、愛らぶコース(5km)、ふれあいコース(3km)の3コース12部門に、市内外から過去最多となる1,039人がエントリー。沿道の声援を受け、ランナーたちは本町通りなど、城下町の趣が色濃く残る町並みの中を駆け抜けていきました。



### 神楽のまちを走る(3月6日 成羽文化センター)

成羽では、「第24回体力づくり健康マラソン」が開催されました。町並みコース(3km)、神楽コース(5km)、ふれあいコース(1.4km)の3コース10部門に、323人が参加。神楽のオブジェが並ぶ成羽の町並みや成羽川沿いのコースを、元気に走りました。競技終了後には、昨年女子全国高校駅伝大会で優勝した、興譲館高校女子陸上部の森政芳寿監督と3人の選手による「青空マラソン教室」が行われ、参加者はストレッチの方法、大切さなどを学びました。



### 大きく育ててね (2月13日 巨瀬町地内市有林)

森林への関心を高めてもらうことを目的に、植樹体験会が行われました。NPO法人「ふれあいの里・高梁」のメンバーや「こせみどりの少年隊」の子どもたち、吉備国際大生ら約40人が参加。場所が岡山自動車道上り線高梁サービスエリアそばにあることから、サービスエリアを利用する人に季節を感じてもらおうと、ヤマザクラとモミジ各75本を植樹。参加者は苗木を1本1本丁寧に植えていきました。

### 100歳おめでとうございます

2月に100歳(明治44年生まれ)の誕生日を迎えられた3人を、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。市内で100歳以上の人は3月1日現在で35人(男性10人、女性25人)。なお、伊藤乙さんは2月18日に亡くなりましたが、ご家族のご意向で掲載させていただきました。謹んでお悔み申し上げます。



伊藤 乙さん  
(成羽町下原)



谷口 ユキさん  
(川面町)



しぶかわ こういち  
澁川 鑽一さん  
(川上町高山)